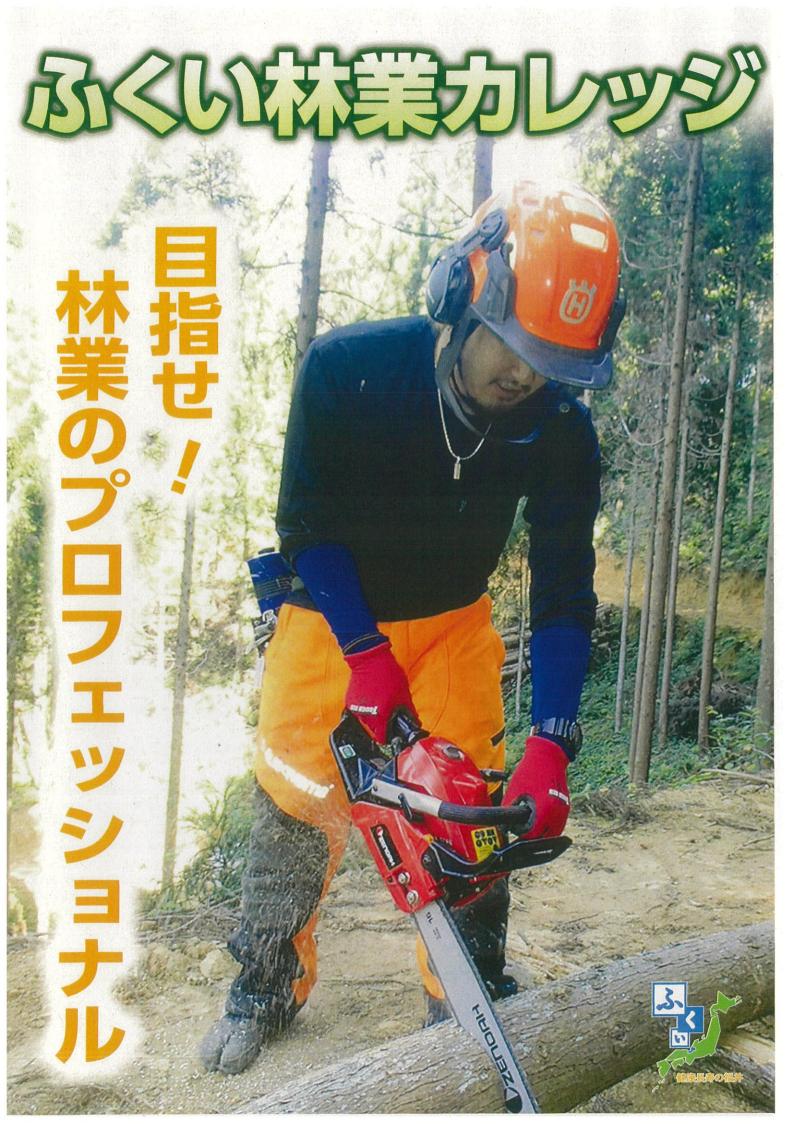
林業大学校等の学校紹介や要望意見等

| 名称 | ふくい林業カレッジ | 所在地 | 福井県坂井市(福井県総合グリーンセンター) H28年5月開校 | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|--|--|--|
| 設置•運営主体 | 福井県 | 学校等の 種類 | 専修学校/各種学校/その他 | | | | |
| 教育理念•設置目的 | | | 従事者の確保に向け、県内の林業事業体など林業 い知識や技術を学ぶ1年間の研修を行い、将来の | | | | |
| 学科・コース (定員・期間) | | ふくい林 (10名・ | | | | | |
| 教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。) | 【講義】(約400時間) (林業に関する基礎知識や林業機械林業の歴史、県の林業施策、森林木質バイオマス、特用林産物等 【実習】(約600時間) (県内の林業事業体でのインターン・就業に必要な伐倒・搬出等の方法を関する基礎取扱等の方法を関係を受ける。 「資格】(約200時間) (林業の就業に必要な資格取得会でのインターン・が、では、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは | の 生態・機能 ンップ 講教 計別 と 育生 対 計算 が 計算 で で で で で で の で で の で の で り で り で り で う に う で う に う う に う う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 | 3、測量・伐倒・造材方法、木材加工、 る安全教育 | | | | |
| その他学校等の特徴 | ・現地実習を多く取り入れており、年間研修日数200日のうち129日を確保(事業体へのインターンシップを含む) ・福井森林管理署と締結した協定に基づき、座学講師派遣や国有林における現地実習について連携・協力 | | | | | | |
| 卒業後の進路 | 県内の森林組合、民間林業事業体、ス | 木材関係企業 | · 等 | | | | |







林業カレッジ の概要

新卒者など若い世代を中心に、全国から就業希望者を募り 林業に関する基礎知識や林業の就業に必要な技術資格の習 得を目的とした研修を行うことで、林業事業体が求める即 戦力となる人材を育成します。

研修生定員

10 名

研修期間

1年間[約1,200時間約200日] (4月~3月)

研修時間

9:00~16:00 [原則 土・日・祝日を除く] (ト記時間は研修内容により変更有)

研修場所

<座学> 福井県総合グリーンセンター 林業研修センター

<現地> 県内の林業現場

研修費用

無 料

(ただし個人の所有物等は自己負担)

支援内容

- ●一定の要件を満たす方には、研修期間中、給付金を支給
- Ⅰターンの研修生については月額5万円が上乗せ
 - ※研修終了後は林業事業体など福井県内の林業分野で2年以上継続して就業することが 条件となります。
 - ※給付金は適切に受講していないと判断されたり、返還要件に該当した場合は、全額を 返還していただくことになります。



講 義 (約400時間)



林業に関する基礎知識や 林業機械の安全な操作方法

- ・林業の歴史、県の林業施策
- ・森林の生態、機能
- ·測量、伐倒、造材方法
- ・木材加工、木質バイオマス
- ・特用林産物





実 習 (約600時間)



県内の林業事業体でのインターンシップ

・就業に必要な伐倒・搬出等の技術の習得



林業の就業に必要な資格取得に係る講習

- ・刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育作業
- ・伐木等の業務に係る特別教育
- · 車両系建設機械運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・走行集材機械の運転の業務に係る特別教育
- · 不整地運搬車運転技能講習
- ・荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育
- ・機械集材装置の運転業務に係る特別教育
- ・簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育
- ・伐木等機械の運転の業務に係る特別教育
- · 狩猟免許試験準備講習
- ・フォークリフト運転技能講習









東京▶福井 【JR利用(米原経由)】新幹線、米原経由北陸本線特急で 約3時間30分 【JR利用(金沢経由)】新幹線、金沢経由北陸本線特急で 約3時間20分 【お車利用】東名、名神、北陸自動車道で 約5時間30分

大阪▶福井 【JR利用】湖西線特急で 約1時間50分 【お車利用】名神、北陸自動車道で 約2時間40分

名古屋▶福井 【JR利用】北陸本線特急で 約2時間 【お車利用】名神、北陸自動車道で 約2時間

お問い合わせ先

◆ 福井県農林水産部県産材活用課 ◆

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1 TEL: 0776-20-0448 / FAX: 0776-20-0654 Email: kensanzai@pref.fukui.lg.jp

◆ ふくい林業カレッジ (福井県総合グリーンセンター内) ◆

〒910-0336 坂井市丸岡町楽間15 Email:ringyocollege@pref.fukui.lg.jp



※郵便等は、県産材活用課に送付してください。

| 名称 | みえ森林・林業アカ | ァデミー | 所在地 | 三重県津市(三重県林業研究所) 平成31年4月開講 | | | |
|--------------------------|---|---|--|---|---|--|--|
| 設置•運営主体 | 三重県 | | 学校等の 種類 | 専修学校/各科 | 種学校(その他) | | |
| | 森林、林業、木材産業、をけん引する人材を育成 | | | | り組み、それぞれの分野 | | |
| 教育理念·設置目的 | ①新たな視点、多様な経 ②高い使命感及び広いる ③先進的かつ戦略的な取 ④環境及び安全に配慮し | t会性を備え Q組を実践で | 、意欲的に行 きる人材 | i動できる人材 | | | |
| 学科・コース (定員・期間) | ディレクター育成コース (5名・2年間 全35日) | マネージャー (10名・1年間 | | プレイヤー育成コース (10名・1年間 全12日) | その他 | | |
| 教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。) | 森林を経価を を経価的の を経価のの が、分先ス 一経資のの が、分先ス 一経資の のが、大きな 一経資の のが、大きな 一経資の ででるわれいする 一様ない ののののでで 一様ない のののののでで のののののでで は本のでで は本のでののののののののののののののののののののののののののののののののののの | コ等営知る 林、営要 ** () () () () () () () () () | るため、経 系る実践得す マネジメン マネジメ経 画、木材需 | 作業の生物である。 作業の生産性・安全性・安全性・対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対 | ・選れた ・選れた ・選れた ・選れた ・市 ・選れた種町職政新へ与案験就対 ・大 ・大 ・大 ・市 ・大 ・市 ・大 ・市 ・大 ・市 ・大 ・大 ・大 ・大 ・市 ・大 ・大 ・市 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 | | |
| その他学校等の特徴 | ①働きながらでも学べる 基本コースの受講日数は、年12~20日で、一月当たりでは1~2日程度となるため、働いている方でも受講しやすく、短期間で効率的に学ぶことができます。 ②全国のトップランナー、先進事例から学べる 県内外のトップランナーを講師に迎え、様々な分野の最先端の知識・技術が学びます。 また、そのような先進事例をいかにそれぞれの取り組みに適用・応用するかについて考えます。 ③アフターフォローも安心 各種相談や講師との取次ぎ、資料の貸し出しも行えます。 | | | | | | |
| 卒業後の進路 | 既就業者を対象としてい | る。 | | | | | |

みえ森林・林業アカデミー

Mie prefectural Forestry Academy MieFA

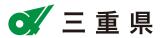














中央:太田猛彦 学長 左:速水亨 特別顧問 右:鈴木英敬 三重県知事

■学長メッセージ みえ森林・林業アカデミー学長 太田 猛彦

林業・木材産業の変革の時、

新たな視点や多様な経営感覚をもって、さらなる発展をめざしましょう

みえ森林・林業アカデミーでは、新たな視点や多様な経営感覚により、林業を取り巻く厳しい状況を打破し、さらには、地域振興の核となりうる人材の育成をめざします。そのため、林業の専門的な知識や技術だけでなく、環境や経済、社会など、関連する幅広い分野についても体系的に学ぶ講座を設定しています。その中で得た学びをそれぞれの取組に活かすことで、林業・木材産業がさらに発展し、持続可能な森林資源の活用が進むことを期待します。

〔学長プロフィール〕-

東京大学名誉教授。現在、FSC ジャパン議長、かわさき市民アカデミー学長等を務める。元職では、日本学術会議会員、日本森林学会会長、砂防学会会長、日本緑化工学会会長等を歴任。著書は「森林飽和 - 国土の変貌を考える」等

■特別顧問メッセージ みえ森林・林業アカデミー特別顧問 速水 亨 速水林業 代表

みえ森林・林業アカデミーで学ぶ皆さんには、日本の林業の新しい一ページを開く人になってほしいと思います。国際的な視点をもって、「自らが考え、自らが挑戦して、自らを変えていく、そして、地域の、地球の森林をより良いものに変えていく」そんな意気込みでアカデミーの一員となってください。世代を超えた多彩な人々が集い、様々な知識を学び、多くの気付きを得て、これまでとは違った新しい発想で新しい時代を切り開いていただきたいと思います。

育成目標

アカデミーでは、森林、林業、木材産業、または、地域社会等において、様々な課題に自ら取り組み、それぞれの分野をけん引する人材を育成するため、次のコンセプトに沿った人材育成を進めます。

新たな視点、 多様な経営感覚及び 科学的知見を 備える人材 高い使命感及び 広い社会性を備え、 意欲的に 行動できる人材

先進的かつ 戦略的な取組を 実践できる人材 環境及び安全に 配慮した取組を 実践できる人材

特



1 働きながらでも学べる

アカデミーの受講生は、林業・木材産業等で既に働いている方をはじめ、森林資源を活用して起業を目指す方、異業種からの参入・転職を考える方、地域おこし協力隊や学生の方など幅広い方を対象としています。 基本コースの受講日数は、年12~20日で、一月あたりでは1~2日程度となるため、働いている方でも受講しやすく、短期間で効率的に学ぶことができます。





2 全国のトップランナー、 先進事例から学ぶ

県内外のトップランナーを講師に迎え、様々な分野 の最先端の知識・技術を学びます。

また、そのような先進事例をいかにそれぞれの取組に適用・応用するかについて考えます。

アカデミーを介して講師や受講生、様々なひととのネットワークづくりを進めます。

3 アフターフォローも安心

受講日以外や受講修了後であっても、各種相談や講師との取次ぎ、資料の貸し出しなども行えます。 アカデミーで一度学べばアカデミーの一員です!



講座体系 (2019年度)

アカデミーでは、それぞれの役割やキャリアデザインに応じた3つの「基本コース」のほか、より専門的な技術を習得するための「選択講座」、市町職員対象の「市町職員講座」、林業に関心がある人を対象とした「林業体験講座」があり、自分に合った講座を選択することができます。

| | 3 つの基本コース | | | |
|-----------------|--|------------------------------|----------------------------|--------|
| 講座 | 概要 | 期間 | 受講料 | 定 員 |
| ディレクター 育成コース | 森林を経営資源として多様な価値を創造するため、分野 の枠にとらわれない先進的で幅広い知識やスキルを習得 します。 | 2年 (20日/1年目) (15日/2年目) | 30,000円/1年目 22,500円/2年目 | 5名程度 |
| マネージャー 育成コース | コスト削減や収益拡大等を実現するため、経営・管理に かかる実践的な知識やスキルを習得します。 | 1年 (12日/1年) | 15,000円 | 10 名程度 |
| プレーヤー 育成コース | 作業の生産性・安全性を高め、効果的な施業を自ら考え 実践するため、科学的な知見に基づく専門性の高い知識 や技術を習得します。 | 1年 (12日/1年) | 12,000円 | 10名程度 |
| 選択講座 | それぞれのニーズに応じた、より専門性の高い各種技術を 習得します。 | 各種 | 1,000円/1日 | 各種 |
| 市町職員講座 | 市町職員を対象に、林務行政の基礎知識を習得し、新たな森林管理システムへの対応や森林環境譲与税を活用した施策立案の演習を行います。 | 5~11日 (一部選択制) | 無料 | _ |

※受講料の他、装備費、材料費、保険料、図書購入費等を必要に応じて実費負担していただく場合があります。

礎知識を学び、林業作業の体験実習を行います。

林業への就業に関心がある人を対象に、森林・林業の基

※選択講座の受講に際して定員を超えた場合は、基本コースの受講生の受講を優先します。

※基本コースの受講生には、講座修了時に修了証を交付します。

林業体験講座

| ディレクター育成コース | マネージャー育成コース | プレーヤー育成コース | | | |
|-------------|-------------|-------------------------|----|---------------|----|
| 講座内容 | 日数 | 講座内容 | 日数 | 講座内容 | 日数 |
| ●林業一般 | 1 | ●林業一般 | 1 | ●林業一般 | 1 |
| ●組織運営 | 3 | ●マネジメント | 2 | ●安全技術 | 3 |
| ●持続可能な森林経営 | 3 | ●会計基礎 | 1 | ●目標林型と森林施業 | 2 |
| ●木材需要と流通 | 3 | ●林業経営 | 3 | ●路網計画 | 2 |
| ●森林資源管理 | 2 | ●路網計画 | 1 | ●森林整備の目的と公的制度 | 1 |
| ●資源活用 | 3 | ●木材需要と流通 | 2 | ●木材生産 | 1 |
| ●林業トレンド | 2 | ●情報発信 | 2 | ●指導技術 | 2 |
| ●プロジェクト企画 | 3 | | | | |
| 1 年目計 | 20 | | | | |
| ●プロジェクト実践 | 15 | | | | |
| 2 年目計 | 15 | 計 | 12 | 計 | 12 |

7~11日

(一部選択制)

無料

10名程度

| 選択講座 | 市町職員講座 | 林業体験講座 | | | |
|---------------|--------|----------------|-------|------------|------|
| 講座種類 | 日数 | 講座内容 | 日数 | 講座内容 | 日数 |
| ●車両系講座 | 2~5 | ●林業一般 | 1 | ●森林・林業基礎 | 0.5 |
| ●架線系講座 | 3~15 | ●森林・林業基礎 | (3) | ●刈払機操作 | 0.5 |
| ●高度伐採技術講座 | 6 | (地域林政アドバイザー講座) | (3) | ●チェンソー操作 | 2 |
| ●調査技術講座 | 各種 | ●森林 GIS 操作基礎 | (2) | ●森林調査 | 1 |
| ●地域林政アドバイザー講座 | 3 | ●森林の新たな利活用 | 1 | ●測量 | 1 |
| ●獣害対策講座 | 2 | ●森林整備・管理 ── | 1/(2) | ●現地視察 | 1 |
| ●育苗講座 | 1 | ●森林資源利用——」 | 1/(∠) | ●きのこ栽培 | 1 |
| ●特用林産講座 | 3 | ●森林環境譲与税を活用した | 2 | ●刈払機安全衛生教育 | (1) |
| ●木造建築講座 | 6 | 施策立案 | _ | ●チェンソー特別教育 | (3) |
| など | | 計 | 5~11 | 計 | 7~11 |

^{※()}内は選択制の講座内容の日数になります。

■林業一般(各育成コース・市町職員講座共通)

林業、森林資源活用を進めるうえで必要となる森林保全の基礎について学ぶとともに、林業・木材産業にかかる政策動向等について学びます。

・太田 猛彦 みえ森林・林業アカデミー 学長 ・肥後 賢輔 (一社)全国木材組合連合会 統括部長 ・林野庁職員 ・三重県職員

だれもがイキイキと活躍できる環境づくりを進 めるため、ビジョンの提示、意欲・能力の向上、 ワーク&ライフの充実、危機管理、安全管理に ついて考えます。

- ・日野 眞明 MORE 経営コンサルティング(株) 代表取締役
- 山口化成工業(株) 代表取締役 ・松倉 利夫
- 坪野 克彦 (株)フォレスト・ミッション 代表取締役
- 西岡 慶子 (株)光機械製作所 代表取締役
- 岡本 銀座パートナーズ法律事務所 代表弁護士 正
- 孝夫 增井労働安全管理事務所 代表 ・増井
- ・平澤 照雄 (有)平澤林産 代表取締役

■持続可能な森林経営

森林資源の持続可能な循環利用を進めるた め、森林生態、保全、防災等について学ぶほか、 経済的・社会的な側面から資源循環の活性化 について考えます。

- 隆 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 ・正木
- ・太田 猛彦 みえ森林・林業アカデミー 学長 みえ森林・林業アカデミー 特別顧問
- 凍水 亨 魚住サステナビリティ研究所 代表 路大 • 鱼住
- ・西岡 敏郎 (一財)日本不動産研究所
- ・足立 直樹 (株)レスポンスアビリティ 代表取締役
- ・河口真理子 (株)大和総研

■木材需要と流通Ⅰ

都市の木造・木質化等、高まる木材需要を読み 解き、地域の特性に応じた流通、マーケティン グ、競争力の向上について考えます。

- ·中島浩一郎 銘建工業(株) 代表取締役
- 和正 鈴鹿木材(株) 代表取締役 ・森
- みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事務局 ・白鳥 芳注
- 法政大学デザイン工学部 教授 ・網野 禎昭
- 名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 · 川崎直理子
- 東白川村職員(総務省地域情報化アドバイザー) ・桂川 憲生 ・赤堀 楠雄 林材ジャーナリスト
- ・古川 大輔 (株)古川ちいきの総合研究所 代表取締役

■森林資源管理▮

森林資源を適正に管理し、生産性の向上を図る ため、資源やコストにかかるマネジメントの手 法や ICT の活用について学びます。

- ·中原 丈夫 極東森林開発(株) 代表取締役
- ・安田 孝 (有)安田林業 代表取締役 明 (株)ブロードリーフ ・大岡
- 信哉 ノースジャパン素材流通協同組合 理事長 ・鈴木 ・森林パートナーズ(株)
- ·酒井 秀夫 東京大学 名誉教授

■資源活用Ⅰ

地域の活性化を図るため、地域資源を活用した 新たなビジネスの創出や経済循環の促進につ いて考えます。

- ・大久保憲一 根羽村 村長
- ・若杉 浩一 日本全国スギダラケ倶楽部
- ・井筒 耕平 (株)sonraku 代表取締役
- (株)ゲイト 代表取締役 ・五月女圭一
- ・藻谷 浩介 (株)日本総合研究所
- ・上原 東京農業大学地域環境科学部 教授 巌
- ・林野庁職員

■林業トレンド(公開講座)

注目される取組や新たな技術、最新の情報に ふれて知見を広め、今後の取組への応用・参考 とします。

■プロジェクト企画(1年目)

各自で取り組むべきテーマ・課題・目標を設 定し、解決や実現のためのプランニングを進 め、プロジェクトを企画します。

・牧 大介 エーゼロ(株)代表取締役

■プロジェクト実践(2年目) ■

1年目に企画したプロジェクトについて、専門家 のサポートを受けながら実現に向けた取組を 進めます。

■マネジメント(一部ディレクター育成コースと共通)

林業の生産性・経済性・安全性の向上を図る ため、作業の効率化、工程管理、安全管理につ いて学びます。

- 湯浅 勲 日吉町森林組合 副組合長
- ・坪野 克彦 (株)フォレスト・ミッション 代表取締役
- 增井労働安全管理事務所 代表 • 増井 孝夫
- ·平澤 照雄 (有)平澤林産 代表取締役

■会計基礎■

森林を計画的・効率的に経営するため、林業会 計の基礎を分かりやすく学びます。

茂則 谷林業(株) 取締役

■林業経営(一部ディレクター育成コースと共通)

持続的な林業経営を行うため、森林管理、森林 評価の手法と合わせて、スマート林業の推進、 コスト管理、獣害対策について学びます。

- ・千葉 幸弘 (株)アドイン研究所 顧問
- ・白石 則彦 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
- 三重大学大学院生物資源学研究科 教授 松村 直人
- ・山本 麻希 長岡技術科学大学大学院工学研究科 准教授
- ・鈴木 信哉 ノースジャパン素材流涌協同組合 理事長
- ・森林パートナーズ(株)
- ·酒井 秀夫 東京大学 名誉教授

■路網計画■

林業の生産性を高め、災害にも強い林内路網 を整備するため、効率的な路網の配置、危険個 所の判断について学びます。

- ・太田 猛彦 みえ森林・林業アカデミー 学長
- ·石川 知明 三重大学大学院生物資源学研究科 教授

■木材需要と流通(一部ディレクター育成コースと共通)

木材生産の経済性の向上を図るため、木材の需 要動向、マーケティングについて学ぶとともに、 需要に応じて価値を高める造材・仕分けを学 びます。

- ・赤堀 楠雄 林材ジャーナリスト
- ・古川 大輔 (株)古川ちいきの総合研究所 代表取締役
- ・川端 康樹 海山林友(株) 代表取締役
- ・松阪木材(株)

■情報発信■

各種の取組や事業内容の PR、商品のプロモー ションを効果的に進めるため、課題設定、企画、 プレゼンテーション、情報発信技術について学 びます。

・楢崎 達也 FOREST MEDIA WORKS(株) 代表取締役

■安全技術■■

林業の安全性を高めるため、確実な安全対策 を学ぶとともに、JLC の競技を取り入れたチェ ンソー技術、かかり木処理等の伐倒技術を学び ます。

- · 山田 容三 愛媛大学大学院農学研究科 教授
- ・片岡 淳也 大紀森林組合
- ・梶谷 哲也 黒滝村森林組合

■目標林型と森林施業 ■

木材生産等の目的に応じた林型への的確な誘 導を行うため、目標林型の考え方、調査方法を 学び、施業の計画作成の演習を行います。

- ・藤森 隆郎 元(独)森林総合研究所 森林環境部長
- 三重県職員

■路網計画 ■

林業の生産性を高め、災害にも強い林内路網 を整備するため、耐久性・作業効率の高い森林 作業道の設置について実習を交えて学びます。

- ・太田 猛彦 みえ森林・林業アカデミー 学長
- 榎本林業(株) 代表取締役 ・榎本 慎一
- ·榎本 琢磨 榎本林業(株) 取締役

■森林整備の目的と公的制度 ■

森林の多面的機能の高度発揮のため、重視する 森林の機能に応じた森林整備と、関連する公的 制度について学びます。

・三重県職員

■木材生産(マネージャー育成コースと共通)

木材生産の経済性の向上を図るため、需要に応 じて価値を高める造材・仕分けを学びます。

- ·川端 康樹 海山林友(株) 代表取締役
- ・松阪木材(株)

■指導技術 ■■

現場技術者の指導育成を自ら行うため、指導や コミュニケーション、プレゼンテーションに関 する技術を学びます。

- 裕 岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ・新津
- ・楢崎 達也 FOREST MEDIA WORKS(株) 代表取締役
- 梶谷 哲也 黒滝村森林組合

(敬称略 順不同)

※講座の内容は都合により変更となる場合があります。





Facebook &

チェック!

アクセス(三重県林業研究所へ)

[三重県庁から]

三重県庁より南西へ約20km 車で約45分

[最寄駅から]

近鉄 大三駅より約1km 徒歩で約15分

[伊勢自動車道から]

久居I.Cより約11km 車で約20分 一志嬉野I.Cより約13km 車で約25分

みえ森林・林業アカデミー

〒515-2602 三重県津市白山町二本木3769-1 三重県林業研究所 アカデミー運営課

Tel: 059-262-5350 Fax: 059-262-0960

Mail:ringi@pref.mie.lg.jp

みえ森林・林業アカデミー



三重県林業研究所 施設概要

構外敷地(津市白山町川口):235,111㎡

本館/交流館/木材試験棟/木材加工棟/きのこ栽培試験棟/ 樹木図鑑園/樹木園/緑化見本園/苗畑/育種母樹林/他

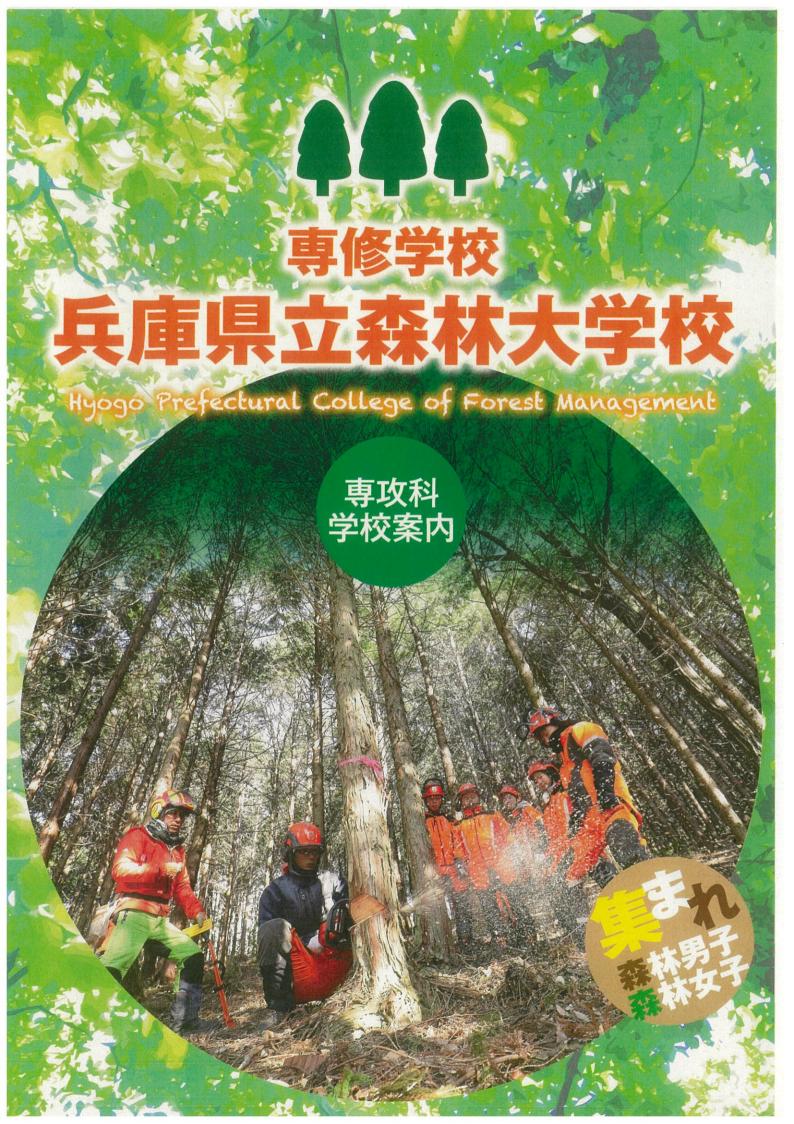
構内敷地:147,170㎡

実習林/育種母樹林等

| 名 称 | 滋賀もりづくりアカ | デミー | 所在地 | | 北桜978-95 林業普及センター内) | | |
|--------------------------|---|--------------------------------|------------|---|------------------------|--|--|
| 設置·運営主体 | 滋賀県 | | 学校等の 種類 | 専修学校/各種学校/その他 | | | |
| 教育理念・設置目的 | | | | | | | |
| 学科・コース (定員・期間) | 既就業者 | 市町 | 職員新規就業者 | | 高校生 | | |
| 教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。) | ・労働生産性6m3/人・ 日以上を達成できる人 材の育成をめざす。 | ・森林整備の方針を立 て、業務の発注ができ 人材 | | ・現場作業が安全にできる人材・山村に新たな活力を与えてくれる人材 | | | |
| その他学校等の特徴 | ・他府県と競合する高校新卒者は対象とせず、転職者の育成を対象としている。・特に、新規就業者の講座において、滋賀らしい人材育成を反映するべく、検討中。 (新規就業者コースは、今年度検討を行い、令和2年度に開講の予定)・林業そのものだけではなく、林業に携わりながら山村での暮らし方を学ぶことができるカリキュラムの設定を検討している。 | | | | | | |
| 卒業後の進路 | 森林組合等林業事業体 | | | | | | |

| 名 称 | 京都府立林業大 | 所在地 | | 京都府京丹波町 平成24年4月開校 | | | |
|--------------------------|---|---|-------------------------------|---|-----------------------------------|-------|--------|
| 設置•運営主体 | 京都府 | | 学校等の 種類 | Ę | 専修学校、各種学校/その他 | | |
| 教育理念•設置目的 | ①実践的な技術・知識を ②森林保全活動から野祭 | これまでの森林・林業教育にない人材育成や資格取得に取り組みます。 ①実践的な技術・知識を身につけて第一線で活躍できる人材 ②森林保全活動から野生鳥獣対策まで幅広い地域活動を支える公共人材 ③森林組合等林業事業体の経営力の向上を支える人材 | | | | | |
| | 森林林業科 (20名·2年間) | | 研修 | 多 科 | | | |
| 学科・コース (定員・期間) | 林業専攻 森林公共 人材育成 | 林業トレーニ ングコース (20名・2ヶ 月) | 経営高度化 コース (20名・3ヶ 月) | 森林保全・野 生鳥獣対策 コース (20名・6日程 度) | 森と木の文 化コース (20~50名・ 年4回) | | |
| 教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。) | 森林科学、育林技術、森林・林業経営、木材利用、林業機械(各種林業機械操作の資格取得のための教育、実習を含む)、森林計測・森林路網等 | 林業の基礎 | 立案、マー ケッティング | 森林に関す る基礎知 譲成用・ 育獣害 鳥割 の習得など | の文化を再 発見・発信」 をテーマに した体験型 | | |
| その他学校等の特徴 | 本校の特徴は、講義3実習7の割合で実践的なカリキュラムを組んでいることです。また、事業体での 実習にも力を入れており1年次のインターンシップ(短期)と2年次後期には「キャップストーン研修(長 等の特徴 期・2クール)」と称する職場実習を実施しています。キャップストーンとは、ピラミッドの頂点に置かれた 石のことで、基礎教育、専門教育と積みあがった上に総仕上げとしてこの研修を行っています。この成 果は、就職した職場への定着に結び付くことから本校では特に重視しています。 | | | | | | |
| 卒業後の進路 | 森林組合連合会、森林組 公務員など | <u></u> 组合、林業、木 | 材製造業、オ | て質バイオマ. | ス関連会社、 | 林業機械会 | 土、造園業、 |

| 名 称 | 兵庫県立森林大学校 | | | :宍粟市 F4月開校 | | | | |
|--------------------------|--|--|------------------------------|----------------|----------------|----------------|--|--|
| 設置·運営主体 | 兵庫県 | 学校等の 種類 | | 厚修学校 各种 | 重学校/その | 也 | | |
| 教育理念•設置目的 | | 本業を担う人材の養成を行うとともに、森林に関わる人材等を幅広く育成する。 り、森林の多面的機能の増進と地域の活性化に寄与する。 | | | | | | |
| 学科・コース | 専攻科 | | | | 研修科 | | | |
| (定員・期間) | (20名・2年間 |) | | 林業機械高 度化コース | 森林経営高 度化コース | 木材利用高 度化コース | | |
| 教育・研修内容 (取得可能な資格を含む。) | ①木材生産、森林整備等の実践的な 資格取得 ②持続可能な地域の森林経営のため 技術の習得、森林経営の見聞を広める の研修 ③森林の持つ多面的な機能の習熟、 【資格】 ①刈払機、②伐木等(大径木含)、③根 械、⑤簡易架線集材、⑥伐木等機械、 地・運搬、積込用及び掘削用)、⑧小型 ⑩林業架線作業主任者(実働3年以上 員、③狩猟免許(わな)、⑭樹木医補、 林ハストラクター(2次試験1部免除(20歳~ 門、⑱選択:はい作業、⑲選択:森林優 | メント、森林 | 建築等新用 途、木造住 宅建築入門 等 | | | | | |
| その他学校等の特徴 | 業界や地域との連携・協力 ・林業・木材産業の業界との連携による実践教育の充実と就業の促進 ・多自然地域まるごとキャンパスとして、森林王国ならではの地域の魅力を体験 ・地域との交流行事を通じて、多自然地域への定住促進や地域を活性化 | | | | | | | |
| 卒業後の進路 | 平成30年度の卒業生14名全員が森林林業関係へ進んでいる。内訳は林業分野6名(森林組合5、林業 事業体1)、木材産業分野3名(製材1、チップ製造2)、森林関係分野2名(造園・緑化1、森林調査等1)、 公務員(県)1名、自営1名、進学1名。 | | | | | | | |



ともに学ぼう、森林大学校で



兵庫の広大な県土の約7割を占める森林。そこには美しい緑や花々、野生の 鳥や動物など様々ないのちが息づき、私たちの心に安らぎや潤いを与えてくれま す。そしてまた森林は、貴重な木材資源の生産の場であるとともに、土砂災害や 洪水の防止、水源のかん養や地球温暖化の抑制など、人々の暮らしを支える重 要な役割を担ってくれています。

新しい地域づくりが求められる今こそ、私たちは"森に守られ、育てられ、共 に生きてきた"ことを再認識し、先人たちが培ってきた素晴らしいふるさとの資 源を未来へと繋いでいかなければなりません。

平成29年4月に開校した「県立森林大学校」は、そうした森林経営の即戦力 となる人材、リーダーとなる人材、森林を通じて地域に貢献する人材の育成をめ ざす、全国でも類を見ない専修学校です。

先進企業等への就業体験や海外研修、全17種の資格取得に対応する専門課目など、実践的で高度な技術・知識が身に付けられる多彩なカリキュラムが用意されているほか、4年制大学への編入資格が取得できるなど、きっと皆さんの情熱や意欲に応え、それぞれの可能性を大いに伸ばしてくれることでしょう。

大きな力と限りない可能性に満ちた皆さんです。この森林大学校で学び、多く のことにチャレンジし、夢や希望に向かって力強く羽ばたいていかれることを期 待しています。



みながわ よしつぐ 皆川 芳嗣



(株農林中金総合研究所理事長 元林野庁長官) 1954年福島県生まれ 東京大学経済学部卒業 1978年農林水産省入省 林野庁長官などを経て、 2012年に農林水産事務次官(15年退官)。

特任大使

ウ井 通子 (医師、登山家)



1942年東京生まれ。 東京女子医科大学卒業、医学博士。 1967年世界初女性パーティマッターホル ン北壁登攀に成功。

69年アイガー北壁、71年グランドジョラス 北壁と、女性で初の欧州三大北壁完登者 となる。

13か国30名の学者、科学者を率いる国際 自然・森林医学会 (INFOM) 会長。

森林について幅広く学ぶ

森林経営や森林林業に関わる人材を幅広く育成する「森林大学校」

「森林大学校」を名称とする専修学校

ク森林の持つ多面的機能を習熟し、森林環境教育も学習 「森林セラピー」®が履修できる学校

野生動物による獣害対策など地域貢献活動も学習 「ワイルドライフマネジメント」が学べる学校



実践的な技能を修得

実習、学外就業体験など1.000時間以上 (4年制大学の約2倍、他県専修学校より16%多い)

与 専門技術の資格取得の充実 全17種の資格や技能を取得(見込み含む)



林業機械等の資格取得

持続可能な地域の森林経営のための高度な専門知識及び技術の習得 4年制大学への編入学の受験資格高度化コースも選択可能、社会人との合同講義

森林経営の見聞を広める国内外の林業先進地研修 学外就業体験などの充実、オーストリア研修(2年次)

業界や地域との連携・協力

メ林業・木材産業の業界との連携による教育の充実と就業の促進 県内業界 (18 団体) との連携協定により学外就業体験や講師派遣、就業促進



各種イベントへの出展

森林セラピー®体験中

多自然地域まるごとキャンパスとして、森林王国ならではの地域の魅力を体験 木のあたたかみのある校舎、地域とのふれあいが生まれる空き家を利用したシェアハウスなど、 「しそう森林王国」ならではの施設を活用し、地域の魅力を体験

地域との交流行事を通じて、多自然地域への定住促進や地域を活性化 農林収穫祭、地域交流イベント、地区保全活動などへの参加

取得できる資格等

- O刈払機取扱作業者
- 2伐木等業務従事者(大径木含む)
- の機械集材装置の運転業務
- の走行集材機械の運転業務
- 5簡易架線集材装置の運搬業務
- の伐木等機械の運転業務
- **①**車両系建設機械
- (整地・運搬・積込み用及び掘削用) 運転技能講習
- ○小型移動式クレーン運転技能講習
- **①**玉掛技能講習
- ●林業架線作業主任者免許(実働3年以上)
- **①**日本赤十字社救急法救急員基礎講習

- **②**日本赤十字社救急法救急員養成講習
- (3) 砂狩猟免許(わな猟)
- 心樹木医補
- **D**森林情報士2級
- ●森林インストラクター二次試験一部免除(20歳~)
- ●森林セラピー*ガイド







カリキュラムの特徴

- ①先進林業事業体等における学外就業体験等を通した実践教育の充実
- ②4年制大学への編入学受験資格の取得が可能な専修学校 (卒業時に専門士の称号を授与)
- ③2年次に、より高度なカリキュラムに対応する 高度化コース (研修科) も選択

人材養成の方針(ディプロマポリシー)

1 森林林業の即戦力となる人材の養成

課題に対して、自ら考えて、安全かつ効率的に 現場作業が実施できる

- (1) 木材生産、森林整備等の実践的な技能を取得
- (2) 専門技術の資格取得の充実(卒業後の受験資格付与等含む)

2 森林林業の次代のリーダーとなる人材の養成

幅広い視野で将来を見通すとともに、状況の変化等に対し、 柔軟かつ計画的に判断と行動ができる

- (1) 持続可能な地域の森林経営のための高度な専門知識及び技術の修得
- (2) 森林経営の見聞きを広める国内外の林業先進地での研修

3 多自然地域に居住し、地域貢献する人材の養成

到達目標地域社会の一員としての自覚を持ち、 地域振興や課題の解決に貢献できる

- (1) 森林の持つ多面的機能を習熟し、森林環境教育にも対応
- (2) 野生動物による獣害対策など地域貢献活動への対応

入学資格等概要 車攻科

入学資格 高等学校卒業又は同等程度で、平成31年4月1日現在40歳以下の方

学年定員 20名 教育期間 2年間

入 学 試 験 推薦試験(学校推薦、事業体推薦、自己推薦)論文、面接

一般試験(数学、国語)、面接

入 学 料 \ 5.650円

入学考查料 2.200円

料 9.900円/月(被服費、傷害保険料、宿泊研修費用、テキスト代等は別途負担)



1年 尼崎市出身 野間奏大

この学校を選んだ理由 は、森林や林業に関する専 門知識がしっかり学べること に魅力を感じたからです。 多くの資格を取得できる ことに加えて、授業料が安

いことも魅力の1つです。



1年 京都府出身 正田将大

高校で学んだ森林リサー チの経験を生かしたいので、 大学校を選びました。授業 で実際に山に行き、いろん な樹木に触れ、新しい知識 が身につくことが楽しいで す。早く林業機械の実習が したいです。

卒業後の進路(見込み)

- 森林組合、森林・林業関係企業
- ●公務員(国や県、市町の専門職)
- ●進学(4年制大学への編入)

学生の進路が確定するまで、大学校スタッフが親身に指導します。

森林大学校で学んだことを生かせる職場として、造林・育林業、素材生産業、製材・加工業、木材流通業など、森林組合や林業関係企業への就業を目指します。

また、公務員(国や地方公共団体の専門職)や、樹木医補や森林インストラクターなどの資格を活かした分野での就業(造園業や環境系アセスメント)も活躍の場として期待できます。

さらに、2年間勉強した後、編入試験を経て4年制大学への編入が可能です。

オープンキャンパス・就学支援



オープンキャンパス

林業体験や学校説明会による新入生の勧誘

就学支援

- ・緑の青年就業準備給付金(最大12.5万円/月、最長2年間)給付 (卒業後3年以上継続して林業分野へ従事する等の条件あり)
- ·林業就業促進資金
- ・日本学生支援機構の奨学金 ※いずれも資格審査等があります

通学・宿舎等



诵学

央粟市街地(山崎方面)からのバス(市内片道200円、 ダイヤ改正等調整予定)が利用できます。

宿舍等

宍粟市が運営する学生向けの寄宿舎「シェアハウス」 (賃料1万円前後/月·室、2~4人/棟、各居室は施錠可、 キッチン、トイレ等は共同)が利用できるほか、宍粟市内 のアパートに入居の場合は家賃補助制度があります。



2年 央粟市出身中山月音

私の地元である宍粟で働きたいと思い、宍粟市といえば"林業"にたどり着きました。そしてこの学校を選びました。

卒業後は、もちろん林業 系の仕事に就きたいです。



2年 熊本県出身



小さな頃から林業に関わった仕事がしたいと思い、 森林大学校を選びました。 将来は大学で、森林の管理や経営について、もっと 深く学んでみたいです。

多自然地域★まるごとキ



兵庫県立森林大学校

【本校舎所在地】

〒671-4142 宍粟市一宮町能倉772番地 【仮校舎所在地】

〒671-4131 宍粟市一宮町安積1347番地3



メールアドレス:c_shinrin@pref.hyogo.lg.jp

アクセス (H30年秋頃まで仮校舎を利用、以下は仮校舎へのアクセス) 【車 で】 姫路から国道29号線で約1時間10分、中国自動車道 「山崎IC」から約25分

【バスで】JR姫路駅より神姫バス山崎行き乗車(約1時間)または JR三ノ宮駅より神姫高速バス山崎行き乗車(約1時間30分)終点山崎で乗り換え。 一宮・波賀方面行きバス乗車(約20分)一宮市民局前下車



ホームページ facebook



30農P2-002A4

専攻科カリキュラム

1年

| | ☑ 分 | 科目 | コマ数 | 単位 | 区分 | 講義内容 | 講師氏名等 |
|------|-------------------|----------------|-------|----|-----|--|--|
| | | 英語1 | 15 | 2 | 学科 | 日常英会話 | 前田 美智代(元マリスト国際学校教員) |
| | | 情報処理学1 | 15 | 2 | 学科 | パソコン操作 | 森林大学校専任教員 |
| | | 情報処理学2 | 15 | 2 | 学科 | プレゼン資料作成 | 深谷 幸三 (神戸山手中学校高等学校非常勤講師) |
| | | 数学 | 15 | 2 | 学科 | 三角関数等 | 江口 善章 (県立大環境人間学部教授) |
| | An all white | 生物学 | 15 | 2 | 学科 | 生態と群集等 | 古川 澄男 (元姫路市立中学校校長) |
| | 般教養 | 物理·化学 | 15 | 2 | 学科 | 構造力学等 | 古川 澄男 (元姫路市立中学校校長) |
| | | 社会学·経済学 | 15 | 2 | 学科 | 集団と規範、経済史等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 法学 | 15 | 2 | 学科 | 民法等 | 高原 勉 (兵庫県司法書士会) ほか |
| | | 保健体育1 | 15 | 1 | 実習 | 登山等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 救急救命 | 15 | 1 | 実習 | 救急法基礎講習等 | 日本赤十字社兵庫県支部 |
| | | 樹木学 | 15 | 2 | 学科 | 植物の形態等 | 鶴田 誠 (日本樹木医会兵庫県支部長) ほか |
| | | 樹木学 実習 | 15 | 1 | 実習 | 樹木観察等 | 鶴田 誠 (日本樹木医会兵庫県支部長) ほか |
| | | 森林生態学 | 15 | 2 | 学科 | 気候と植物の分布等 | 金澤 洋一(神戸大学名誉教授) |
| 森 | 林生態学 | 森林機能保全 | 15 | 2 | 学科 | 災害防止機能等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 造林学 | 15 | 2 | 学科 | 間伐、再造林等 | 金澤 洋一(神戸大学名誉教授) |
| | | 造林学 実習 | 15 | 1 | 実習 | 枝打実習等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 森林計測学 | 15 | 2 | 学科 | 樹高、材積の測定等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 森林計測学実習 | 15 | 1 | 実習 | 樹高測定実習等 | 森林大学校専任教員 |
| | 森林計画 | 森林情報論 | 15 | 2 | 学科 | 森林GIS、GPS等 | 竹島 喜芳(中部大学准教授) |
| | | 森林計画 | 15 | 2 | 学科 | 森林法、保安林制度等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 測量学 | 15 | 2 | 学科 | コンパス測量等 | 森林大学校専任教員 |
| 森 | 森林土木 | 測量学 実習 | 15 | 1 | 実習 | 製図実習等 | 森林大学校専任教員 |
| 林 | AN 11 -11 | 作業道作設理論 | 15 | 2 | 学科 | 施業団地と路網配置等 | 森林大学校専任教員 |
| 11 | | 林業機械作業システム | 15 | 2 | 学科 | 林業機械の種類等 | 森林大学校専任教員 |
| 技 | | 林業機械学(技能講習等1) | 72 | 4 | 実習 | 林業機械の安全衛生教育等 | 専任教員+民間事業体等 |
| 術 | 林業機械 | 林業機械学 実習1 | 60 | 4 | 実習 | チェーンソー実習等 | 専任教員+民間事業体等 |
| 1/19 | 171. 26. 126. 128 | 林業機械学 実習2 | 15 | 1 | 実習 | 車両系建設機械の運転等 | 専任教員+民間事業体等 |
| | | 林業架線学1 | 15 | 2 | 学科 | 集材架線の索張り方法等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 木材物理学 | 15 | 2 | 学科 | 木材の組織構造等 | 林 和男(愛媛大学名誉教授) |
| | 林産 | 木材加工学 | 15 | 2 | 学科 | 製材、木材乾燥等 | 林 和男(愛媛大学名誉教授) |
| | 71 | 里山資源利用論 | 15 | 2 | 学科 | きのこ生産、薪・ペレット等 | 小島 正樹 (NPO法人森と地域ゼロエミッションサポート倶楽部) |
| | | 森林林業概論 | 15 | 2 | 学科 | 特別講義、森林・林業白書解説等 | 森林大学校専任教員ほか |
| | | 森林政策 | 15 | 2 | 学科 | 県の施策、政策史等 | 森林大学校専任教員ほか |
| 経済 | ・法律等 | 森林経営 | 15 | 2 | 学科 | 企業トップ講話、森林経営の実践等 | 企業トップ+古川ちいきの研究所ほか |
| | | 木材流通 | 15 | 2 | 学科 | 木材マーケティング等 | 酒井 宏一(NPO法人町なみ屋なみ研究所代表) |
| | | 保健休養学実習 | 10000 | | | porte de la companya | 一樹 洋彦 (森林インストラクター兵庫) |
| 李 | 林環境 | (森林セラピー) | 15 | | 実習 | 森林レクリエーション実習等 | 山下 広行 (森林インストラクタ-兵庫) ほか |
| VIN | 11. 21. 20 | 野生鳥獣被害対策 | 15 | 2 | 学科 | 被害防除、捕獲方法等 | 県立森林動物研究センター森林動物専門員ほか |
| | | 演習林実習1 | 15 | 1 | 実習 | 伐木造材実習等 | 地元森林組合ほか |
| | - W. L W. C. | 体験研修1 | 15 | 1 | 実習 | 県、地元イベントへの参加 | 森林大学校専任教員ほか |
| 実習 | 引·学外訓練 | 特別講座1 | 15 | 2 | 学科 | マナー、話し方教室等 | 森林大学校専任教員ほか |
| | | インターンシップ | 24 | - | 実習 | 林業事業体での体験実習 | 森林組合、素材生産業者、木材業者 |
| 7 | の他 | ガイダンス・HR・その他行事 | 41 | - | その他 | 入学式、健診等 | 森林大学校専任教員 |
| - | 合 計 | | 767 | 74 | | | |
| | | | | | | | BOLLEY STORY OF THE STORY OF TH |

各分野の専門家による 充実のカリキュラム

皆川名誉校長の特別講義を熱心 に聴講する1・2年生



森林調査への活用が期待 されるドローンの操作

ドローン実習の成果を現場での調査研究等に活用します。



低コスト林業を実現する 林業機械の操作

徹底した現場教育により即戦力 を養成します。



facebook で、授業風景を更新していますのでご覧ください。

| Beech | 7 | 17 | 77.96 | 単位 | EZA | 講義内容 | 講師氏名等 |
|-----------------|--------------------|----------------|-------|-------------------------|--|--------------------------|------------------------------|
| | 区 分 | 科目 | コマ数 | A STATE OF THE PARTY OF | 区分学科 | 英文読解等 | 野谷 るり子(元県立高等学校校長) |
| _ | 般教養 | 英語2 | 15 | 2 2 | | 登山等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 保健体育2 | 15 | | 実習 | 豆山守 樹木診断、樹木治療等 | 翻 |
| | | 樹木医学 | 10 | 2 | 子科 | 倒不診断、個不治療守 | 小舘 誓治(兵庫県立人と自然の博物館 研究員) |
| 森 | 林生態学 | 森林土壤·森林地質学 | 15 | 2 | 学科 | 土壌の分類、地質図の読み方等 | 荒木 繁幸((一社)関西地質調査業協会 理事長) |
| | | 森林保護学 | 15 | 2 | 学科 | 病虫獣気象害と対策等 | 山本 福寿(鳥取大学農学部特任教授) |
| | | 森林保護学 実習 | 15 | 1 | 実習 | 森林被害の観察等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 森林情報論 実習 | 15 | 1 | 実習 | GIS、GPS操作実習等 | 竹島 喜芳 (中部大学准教授) |
| | 森林計画 | 森林計画実習 | 15 | 1 | 実習 | 森林調査、間伐計画作成等 | 森林大学校専任教員 |
| | | 森林施業プラン作成実習 | 15 | 1 | 実習 | 森林施業提案書の作成等 | 藤田 和則(北はりま森林組合) |
| * | 森林土木 | 作業道作設実習 | 15 | 1 | 実習 | 路線計画作成等 | 森林大学校専任教員 |
| 森林生態学 | | 林業機械学(技能講習等2) | 17 | 1 | 実習 | 林業機械の運転に係る特別教育等 | 専任教員+民間事業体等 |
| 生 | | 林業機械学 実習3 | 45 | 3 | 実習 | 高性能林業機械の運転等 | 専任教員+民間事業体等 |
| 態 | 林業機械 | 林業架線学2 | 15 | 2 | 学科 | 集材架線の索張り設計等 | 森林大学校専任教員 |
| 子 | | 林業架線学 実習 | 30 | 2 | 実習 | 集材架線の索張り実習等 | 播戸 忠玄(愛林興業(株))ほか |
| | | 素材生産総合実習 | 30 | 2 | 実習 | 林業機械を使用した素材生産実習 | 専任教員+民間事業体等 |
| | 林産 | 木材加工学 実習 | 15 | 1 | 実習 | 製材工場での製材実習等 | (県内製材工場等) |
| | / 座 | 木造建築・木材コーディネート | 15 | 2 | 学科 | 木造建築の部材と構造等 | 酒井 宏一(NPO法人町なみ屋なみ研究所代表) |
| 経分 | ・法律等 | 森林会計学 | 15 | 2 | 学科 | 簿記、財務諸表等 | 兵庫県森林組合連合会ほか |
| | | 造園学 | 15 | 2 | 学科 | 造園、公共緑化等 | 多田 学 (登録ランドスケープアーキテクト (RLA)) |
| | | 森林セラピー® | 15 | 2 | 学科 | 森林セラピー®の効果等 | 森林セラピー® 協会ほか |
| 森 | 林環境 | 造園学実習 | 15 | 1 | 実習 | 造園計画平面図の作成等 | 境 亮典 (CO-DE GREEN デザイナー) |
| 赤木 | 小 块 块 | 野生鳥獣被害対策実習 | 15 | 1 | 実習 | 狩猟免許講習、ジビエ料理等 | 吹田 修身((一社)兵庫県猟友会会長)ほか |
| | | 里山論 | 15 | 2 | 学科 | 里山の生物多様性、歴史・文化、里 山管理等 | NPO法人ひょうご森の倶楽部 ほか |
| The state of | | 演習林実習2 | 22 | 1 | 実習 | 作業道作設、素材生産演習 | 事任教員+民間事業体等 |
| | | 体験研修2 | 15 | 1 | 実習 | 県、地元イベントへの参加 | 森林大学校専任教員ほか |
| ch vi | D 224 61 =1(1.4-t- | 特別講座2 | 15 | _ | | 課題解決等 | 森林大学校専任教員ほか |
| 実習 | 智·学外訓練 | 海外研修 | 30 | 2 | | オーストリア等視察研修 | 森林大学校専任教員 |
| 10.00 | | 学外就業体験 | 120 | 8 | 学科 | 林業事業体での就業実習 | 森林組合、素材生産業者、木材業者 |
| | | 卒業研究 | 60 | 4 | 実習 | 調査、研究、発表 | 森林大学校専任教員 |
| 高周 | 度化コース | 林業機械、森林経営、木材利用 | 40 | 2 | | | 森林大学校研修科 |
| そ | の他 | ガイダンス・HR・その他行事 | 44 | C | その他 | 入学式、健診等 | 森林大学校専任教員 |
| 合 | 計 | | 753 | 56 | | | |
| and the last of | H.L. | | 10000 | 1 | W 4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | | |

※講義内容は見直す場合があります



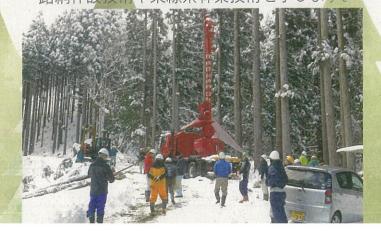
研修科の特徴

林業従事者や幅広く森林に関わる人材を育成します。

- ア 林業従事者を対象にした研修
 - ①林業機械高度化コース (路網作設、架線系林業機械技術等)
 - ②森林経営高度化コース(組織マネジメント、森林クラウド ICT 活用等)
 - ③木材利用高度化コース(建築等新用途、木造住宅建築入門等)
- イ 一般県民を対象にした研修
 - ①森林セラピー®、樹木学・ジビエ活用等

林業機械高度化コース

路網作設技術や架線系林業技術を学びます。



ジビエ料理教室

シカ肉の有効活用を通じて、野生動物の保護管理への理解を深めます。



多自然地域★まるごとキ



兵庫県立森林大学校

【本校舎所在地】

〒671-4142 宍粟市一宮町能倉772番地 【仮校舎所在地】

〒671-4131 宍粟市一宮町安積1347番地3



ホームページ facebook

TEL 0790-72-2700 FAX 0790-72-2701

メールアドレス:c_shinrin@pref.hyogo.lg.jp

アクセス (H30年秋頃まで仮校舎を利用、以下は仮校舎へのアクセス) 【車 で】 姫路から国道29号線で約1時間10分、中国自動車道 「山崎IC」から約25分

【バスで】JR姫路駅より神姫バス山崎行き乗車(約1時間)または JR三ノ宮駅より神姫高速バス山崎行き乗車(約1時間30分)終点山崎で乗り換え。 一宮・波賀方面行きバス乗車(約20分)一宮市民局前下車



30農P2-002A4

各林業大学校等の概要等(奈良県・現時点検討案)

| 名称 | 奈良県フォレスト・アカデミー | 所在地 | 奈良県南部地域を予定 | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|--|--|--|
| 設置•運営主体 | 法人委託を視野に検討 | 学校等の種類 | その他(条例設置) | | | | |
| 教育理念 設置目的 | 【人材育成の目的】 奈良県が森林管理の参考としているスイス連邦の森林 る林業的な「施業管理」ではなく、地域に即した土地利 の「環境管理」として運用されている事が大きな要因とな このため、新たな森林環境管理制度は、「施業管理」 「環境管理」を推進する制度とすることとし、公共政策の 織」、「人材」、「教育」、「財政」が有機的に結びつき、 林環境管理には、その目的を成し得る能力を持つ人材 | 川用や景観保全、生 なっています。 」が中心であった従来 カー翼を担う森林管: 効果的に機能する必 | 物多様性保全等を含んだ森林 の森林管理に加えて、森林の 理を展開するため、「制度」、「組 な要があります。それ故、新たな森 | | | | |
| 学科・コース (定員・期間) | フォレスター養成課程 (10名・2年) | 作業員養成課程 (10名・1年) | | | | | |
| 教育研修内容 (資格取得) | つ「生産」「防災」「生物多様性」「レクリエーション(社会性)」に関する理論を理解しマネジメントできる能力を身につける。 さらに、森林管理の行政的知識、手続き等を身につけ、市町村の森林行政の根幹を担える人材となるようなカリキュラムを修得する。 【資格取得】 刈払機作業安全衛生教育、チェーンソー作業従事者は技能講習、不整地運搬車技能講習、機械集材装置業従事者安全教育、車両系建設機械運転技能講習 | 森林管理・林業を実践する技術の習得と、森林の持 主に森林管理・林業を 主に森林管理・林業を 対の持つ「生産」「防災」 に関する理論を理解しマネジメントできる能 のを身につける。 おいま立方とを得する。 資格取得】 別払機作業安全衛生教育、チェーンソー作業従事者特別教育、玉掛け技能 支能講習、不整地運搬車技能講習、機械集材装置運転業務特別教育、荷 選ば事者安全教育、車両系建設機械運転技能講習、走行集材機械運転等 更転業務特別教育、簡易架線集材装置等運転業務特別教育、フォークリフト | | | | | |
| その他学校等の特徴 | スイス・リース林業教育センターと連携 | | | | | | |
| 卒業後の進路 | フォレスター養成課程 ・市町村の森林行政を執行する県と市町村が連携した組織(構想) ・市町村職員・コンサル・林業事業体等 | ・林業事業体 ・自伐林家等 | | | | | |